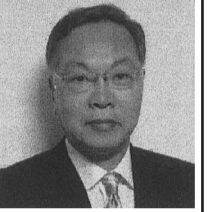


令和5年1月22日執行

上野原市議会議員一般選挙公報

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

上野原市選挙管理委員会



渡辺あつお

上野原のみなさまへ

人口減少で将来消滅都市になるとも推定されている上野原の現状に、みなさまは誇りを抱えているでしょうか？ それとも、「若者が上野原を離れたまま戻ってこない」「市外から移住してきた方々が上野原に失望し、再び出ていく」状況を抜本的に改善するための施策を打つべきと考えているでしょうか？

私は上野原を、「子どもたちに優しく、障がい者、高齢者や「65」の方、みなさまが豊かで明るい未来を築ける街にする」と決意しました。具体的な施策例は以下の通りです。

- いつでもどこでも誰でも、公共交通機関とインターネットを格安で活用できる街。
- 市民の声が政策に即座に反映可能な市民会議などの創生
- 子育て世代に定期的な助成金の創設



やすどめ俊介

しゅんすけ

あなたの声を市政へ

上野原市は今、超高齢化社会を迎えることによる二〇二五年問題、SDGs、新たな感染症などの様々な課題が山積しています。私は約四〇年の役所職員としての経験や知識を活かし、市民ファーストの市政が行われ、上野原市の人たちが安心して暮らすことができ、若い世代が将来に希望を持つことができる持続可能なまちづくりに全力で取り組みます。

安心して暮らし続けられるまちづくり

プロフィール

★一九五五年十一月十日生まれ（六十七歳）
 ★学歴 日本大学立栗谷小学校・秋山中学校卒業
 ★職歴 秋山村立栗谷小学校・秋山中学校卒業
 ★食品経済学科卒業
 ★上野原市役所（生活環境課長、合併協議会事務局長、山梨県東部広域連合事務局長、議会事務局次長、東部広域連合企業団事務局長など）
 ★土地改良区事務局長など
 ★信条 是非を断る、和顔愛語



川田よしひろ

日本共産党

みなさんと中学3年生の給食費無料を実現

今度小中学校全学年の給食を無料に

- 国保税、介護保険の負担軽減
- 高校生・大学生のパソコン購入支援
- 通学路の安全を守ります
- 高齢者の補聴器購入を助成
- 市立病院の充実で地域医療を守る
- 防災計画・防災訓練を役立つものに
- 公共交通の改善を

市民を応援する市政を

物価高 大軍拡大増税の審判を！
コロナ禍 平和とくらし守れの願いを託して下さい

財源 基金（積立金）は、昨年度は6億円以上増え64億円あります。



長田きみお

おさだ

前進！夢あるまちへ

《市民が主役、豊かで安心して暮らせる社会の実現》

【市政に取り組み基本姿勢】

☆住みよき魅力的なまちづくりの推進

1. 地方創生に向けた取り組みを推進します
2. 教育・子育て支援の充実を図ります
3. 福祉・医療の充実を図ります
4. 生活基盤（道路等）の整備を進めます
5. 産業・観光振興・まちづくりの推進を図ります



丸山たけし

2040年問題をご存じですか。人口減少は日本全体をおおむね大きな問題です。消滅可能性都市ランキングを見ると、当市は上位にあって2040年代には人口が約半減することも予想されています。①移住者を呼び込む。若者および元気な年配者の移住促進が求められます。②公共交通の充実を。第2期上野原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を見ると、当市を住みやすいと感じる人が5割強、住みにくいと感じる人が5割弱となっています。住みにくさの1つに交通の不便があげられます。これまでデマンドタクシーや市内循環バスが導入されていますが、より一層便利な公共交通手段の拡充が求められます。③常設の文化施設を。今年度市役所1階でおこなわれた歴史文化ミニ展示会は実に興味深いもので、新しい発見もありました。当市は山登りや釣りなどには申し分ないものの、文化施設があれば市民にも観光客にも裨益するところ大であり、小中学校の校外学習にも使用できます。ユネスコ無形文化遺産も誕生しました。④くらしを守る。物価高のなか医療費や電気などの公共料金が上がりました。より一層、市の施策が求められます。

○年齢：51歳 ○所属政党：無所属 ○職業：大学非常勤講師 ○出身校：慶應義塾大学 ○趣味：ハイキング ○その他：元マンション管理組合理事長・元自治会副会長



谷口文朗

上野原の主権者に愛を！の投票をお願いします！

令和二年九月、桂川の対岸に世界で最も美しい「二重虹」が出現しました。上野原市に「天の時」が訪れています。「今」です！

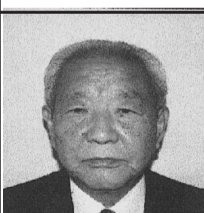
「二重虹」の真下に七千坪の市有地があります。ここに「世界初の難民問題のリーサチパーク」という国際機関を誘致し、上野原を国際都市にして特急かいじ号を再停車させましょう。そのために私は、公費による1人選挙を戦い、夢への「投票」を頂いて、1期4年間、粘り強く議会と市に説明し、上野原の総意を形成して、村上市長から、「日本の尊厳と国益を護る会」に参加されている自由民主党山梨県選出衆参両院の国会議員各位と「護る会」の青山繁晴会長と長崎知事へ提案して頂く考えです。



佐藤澄男

みなさんの声を大切に
 「みんなと一緒に行動する」議員になります

- 一 教育・子育てのしやすい環境を築きます。
 - ・ 給食費の完全無償化へ取り組みます。
 - ・ テレワーク施設支援を取り組みます。
 - ・ 学童保育、育成活動に取り組みます。
- 一 防災対策を住民の皆様と共に築きます。
 - ・ 温暖化により、集中豪雨による災害防止に取り組みます。
 - ・ 各地区の実態にあった対策を取り組みます。
 - ・ 豊かな自然を整備し首都圏からの人口流入を図ります。
 - ・ 川や山林の環境整備に取り組みます。
 - ・ 市内にある施設の整備と充実を取り組みます。
- 一 各種イベントの開催に取り組みます。



八木かずお

《ふるさとに愛を！夢を！》

人口減少が進む中、地域を将来にわたって存続させ、つなげていくための原動力となるのは、「市民力」です。市民の皆様が夢と希望を持ち、安心・安全で幸せに暮らし、「住んで良かった上野原」と思える魅力ある「まちづくり」を目指します。

- ◇ 「上野原市まち・ひと・しごと創成総合戦略」の各事業の検証と課題提起
- ◇ 学校・社会教育の環境整備
- 「C」教育の更なる環境整備と充実を図ります。
- 文化・歴史の伝承に向けた文化財の恒常的展示施設の開設を推進します。
- ◇ 働きながら子育てができる良好な環境の整備促進
- 子ども園・保育所などへの保護者の送迎の負担軽減を図ります。
- 学童保育施設の環境整備を図ります。
- 通学路の安全対策の強化
- 通学路の危険箇所の改修・改善に取り組みます。
- ◇ 都市計画道路構想の在り方の再考
- 都市計画道路構想の在り方を検証し見直します。



えんどう
遠藤みちこ

1人の声を大切に！ 女性の視点で実績ナンバー1！

- 誰一人取り残されない、安心安全なまちづくりを目指します
- 自助・共助で支え合う防災・減災対策を推進
- 給食アレルギー対策を推進
- 若者が子育てしやすい環境整備を推進
- 歴史・文化・芸術にあふれたまちづくりを目指します



◆プロフィール◆
○昭和30年9月15日生まれ、67歳。
○旧県立吉田商業高校卒業
○平成27年、上野原市議に初当選。
現在、市議2期。
○防災士
○党北都留支部長



白鳥すみお

- ・安全・安心に遊べる場所づくり
- ・地域交流できる
児童館等設置の働きかけ など
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・市政に参画しやすいまちづくり
など

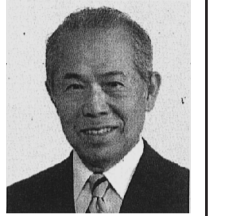
子どものために！ 若者のために！

人口減少対策 実現への取り組み！

高齢者のために！ 未来のために！

- ・安全・安心な地域社会づくり
- ・活躍できる高齢者の居場所づくり
- ・健康長寿社会への取り組み など
- ・住み続けたいまちづくり
- ・インフラ等の格差是正
など

誰もが幸せに暮らせるために！



保守系無所属新人 **小俣崇**

暮らしやすい安心できるまちづくりを進める

未来を切り拓く5つの柱

- 1. 市民参加と協働のまちづくり
- 2. 子育て支援制度の拡充
- 3. 高齢者、障がい者への支援
- 4. 安心・安全な生活環境の確保
- 5. 地域コミュニティの活性化

山梨県知事 長崎 幸太郎 / 東京都三浦市長 河村 孝 / 上野原市長 村上 信行

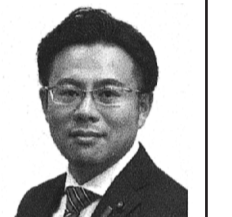


川島秀夫

住みよい街づくりに 全力投入！

- ☆ 少子高齢化時代を、明るい未来につなげる
- ☆ 高齢者にやさしい街づくり
- ☆ 移住・定住促進
- ☆ 美しい自然環境を守る
- ☆ 談合坂スマートインターから
国道20号へのアクセス道路整備

- ☆ コモア・フレッジ 市進出実現！
- ☆ 災害対策万全都市上野原
- ☆ コモア北側に抜ける道路整備



内田ひろとも

つなげます！！
～オール上野原で未来につなげる第1歩～

政治信条 **現場主義**

45歳 責任世代

- デジタル化を進め身近な行政の実現
- 子育てファミリー世帯に住宅補助政策の実現
- 教育の選択肢を広げ子ども達が集まる上野原の実現
- デマンドタクシーを充実し利用しやすい環境整備の実現



東山ひろあき

人生100年時代の快適なまちづくりを！

市街地の中での移動手段としてのデマンドタクシーの運行。市内循環バス利用向上策としての運賃定額化と交通弱者等の方々への補助。

子育てしやすい環境づくり！

上野原駅南口へ朝夕の乳幼児一時預かり所の設置。
そこからの子ども園への送迎を確保。

市内各区の誇るべき歴史・伝統・文化を
次代につなげること！

小・中・高校生の児童・生徒はもとより、全世代とともに学び、体験できる施設の実現。

新町交差点付近の渋滞緩和と
安全確保のための改良・改修！

国・県・市と協力して具体的かつ、スピード感をもって推進していきます。



無所属
清水みず

愛着も魅力もある上野原

仕事を通じて多くの市民の方の生活にふれあって来ました。
こうした生活の中に課題や未来があることに気づきました。
私は一人ひとりに向き合っ、市民の皆様と一緒に地域コミュニティのあり方、上野原市の未来を考えていきます。

環境を整える

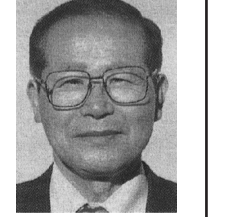
- 移住者
- 子育て
- 教育
- ナリワイ
- 地域コミュニティ
- 住環境
- 医療
- 高齢者
- 障がい者
- 自然災害



山口かおる

次世代が希望を持てる上野原のために

- 市民に情報選択の自由を
- 市内全域にNTT光を全市民に行政放送を
- 情報の地域格差解消
- 家族や隣近所の助け合い
消火や応急手当の備えを
- 誰もが助かる防災計画
- 駅前保育サポート
通勤等困難時の支援
- 通勤(通学)者の支援
- 観光資源を世界へ
自主財源安定確保
- 上野原ブランド創作
ふるさと納税倍増
- 地域資源の活用
- 脱炭素社会の構築
- SDGsの継続推進
生物多様性保護
- 環境保全対策の推進
- ① 子育て支援、医療福祉充実
- ② 狭い県道、市道の拡幅
- ③ 公共物再利用・空地に公園
- ④ デマンド改善、ゴミの資源化
- ⑤ 桂川橋の拡幅、架けかえ
- ⑥ 市役所広場に屋根を設置
- ⑦ 総合スポーツ公園整備
- 住みよい上野原へ



杉本公文

市民オンブズマンの候補者

すぎもと こうぶん

【行政をチエック、ムダを省く】
市民目線で議員が行政に正しい意見を
言えない議会では駄目です。

【少子高齢化と人口減少の今、
限られた財源で取り組む施策】
情報格差解消、市内全域でNTT光の
早期整備を実現する。

○ 医療や出産・子育て支援（小中学校の
給食費の無償化など）を充実。

○ デマンドの利便性向上、買い物や通院
困難者対策を実施します。

○ 鳥獣害や大震災に備え対策を強化。

【議員定数・次は12人に削減する】
14人でも、県下市の人口比で最も多い。
私は、何事にもブレル事無く、強い意志と
信念を持ち行動します。



あまの淳

● 市民との意見交換会
上野原市の未来を良くするために 市民の皆さんのご意見を聞かせてください
私は何度か知り合いの市議会議員に地域の要望や市民としての意見を市議会に提案してほしいと
お願いしてきましたが、それに対して明確な返答や進捗報告が来ることは一度もないまま、おざなりにさ
れてきた苦い経験があります。そのため私は月例会を行い、皆さんの意見を聞かせて頂き、その意見を
まず市議会に提案した上で、活動内容とその進捗状況を報告させていただきます。
お邪魔でなければ、団体などの困り事などがございましたらいつでもお伺いしますので生の声をぜひ
お聞きかせください。

● 市内の雇用拡大
上野原市の事は上野原市民が
現在、上野原市発注の事業の多くが市外の業者に依頼されており、市内の事業にも関わらず、市外在
住の方に上野原市の仕事を任せていることが多い状態です。そのため市内の業者の仕事が減り、それ
に比例して業者自体の数が減少してしまうことで市民が上野原市外で働かざるを得ないケースが多くな
っているように感じられます。そこで私は、市の事業を市内業者に委託し市内の雇用拡大を図ります
。雇用拡大により法人住民税や法人事業税、地方消費税といった地方税の収入も増加し、上野原市
のために使用できる税金を増やすことができます。また、働ける場所が市内に増加することで上野原
市で働ける人口の増加も期待できると考えています。
市内の業者の減少からなる「負のスパイラル」からの脱却を果たし、移住者や若者、シニア層の雇用促
進にも繋げていきたいと考えています。

● 市全体で子育てを支える
上野原市には、スポーツをはじめとした、様々なことに対して夢を持ち日々努力を積み重ねている子
供がたくさんいます。そこで私は、「上野原からプロを！」を目標に各スポーツ団体等への補助金や
練習場所の提供を行います。
子供たちがいつか夢を叶えプロになる日までの道のりを、少し手伝わせていただきたいと思います。
また、現在中学生までの児童手当を高校卒業まで延長するべきだと考えています。各世帯の負担を
減らすとともに、高校進学後も市内に在住し続ける高校生を増やしたいのです。

● 社会福祉
上野原市は地形的にも車がないと移動が難しい場所です。そのため家から病院までの通院ができな
いお年寄りが多いことが現状であり課題の一つです。
この課題の改善に向けて、在宅医療の体制整備を拡充します。また、障がい者の就職先が上野原市内
にないため、就職支援の促進に努めていきます。誰もが暮らしやすく働きやすい上野原市の実現を目
指します。